



OBUパパ&ママサロン／保健師がインスタライブで正しい抱っこや沐浴の仕方などについて配信。妊婦の方の子育てに関する不安を解消した。

特別定額給付金の早期給付／国による1人10万円の給付金の支給決定後、特別チームの設置や独自システムの開発など、いち早く給付業務を実施。市民から職員への感謝の言葉とエールが多数寄せられた。

## 認知症になっても安心して暮らせるまちを目指す 大府の認知症施策

平成29年12月、全国初となる「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」を制定した大府。様々な認知症施策を通して、認知症に対する不安を解消し、誰もが安心して暮らすことができるまちを目指し、全力で取り組んでいます。

認知症  
不安ゼロ  
のまち

- 1 健康長寿塾／国立長寿医療研究センターが開発した、脳と体の運動を同時に行う「コグニサイズ」を始め、ストレッチ、筋力トレーニングで認知症を予防。
- 2 国立長寿医療研究センター／高齢者医療に関する世界トップレベルの研究機関。市と連携し、認知症予防等の取り組みを進めている。
- 3 磁気共鳴断層撮影(MRI)装置／平成29年度、国立長寿医療研究センターが、市の補助金を受けて整備。
- 4 OBUオレンジリングモニュメント／平成30年12月に大府駅西口に設置。OBUの「O」は、認知症サポーターの証「オレンジリング」をモチーフにしている。

掲載以外の写真は  
こちらで  
Check!



## 独自の新型コロナ 対策

きめ細かな新型コロナ  
ウイルス感染症対策  
を、スピード感を持って  
実施した大府

国の特別定額給付金の基準日以降に生まれた赤ちゃんにも一人10万円を支給する臨時特別出産祝い金や市民全員に配布し、約15億円の経済波及効果を生んだおおぶ元気商品券(1万円分の買い物・飲食店利用券)など、独自の事業に全国から注目が集まり、大府に追随する自治体が多くみられました。



学生応援!ふるさと便おおぶ／国の緊急事態宣言などの影響を受けた市外で生活する大府市出身の学生を応援するために、地元産の食品やマスクなどの生活物資を贈った。



株式会社スギ薬局と連携したマスク販売／マスクが手に入らない状況が続く中、株式会社スギ薬局に協力を求め、市内全世帯を対象に不織布マスクのあっせん販売を実施した。



広報おおぶで感染予防啓発／広報おおぶロゴマークの「O」と「b」と「u」の間隔を離したフィジカルディスタンス版を採用。併せて、感染拡大を防ぐために、岡村秀人市長の直筆の手紙を表紙とした。